

2017年度JHF事業計画

事業方針

2016年度は パラグライダーやハンググライダー 女性フライヤーによる世界記録の更新がなされるという活躍がありました。その一方、死亡事故は前年より減少しましたが重傷事故も多く発生しており、安全対策はこれからも重要な課題です。安全に飛行できることは普及の前提条件です。今後も教本作成や安全セミナーなどを通じて事故の防止を図っていきます。また、フライヤー自身のケガを保障するJHF総合保障制度の加入者の拡大を図ります。フライヤー人口は底を打った状態ですが、増加に転じる気配は見られません。パラグライダー、ハンググライダーが町おこしに役立っている例もあります。そういう活動も含め今後も普及活動に取り組んでいきます。

事業の具体的内容

1. 理事会・事務局の事業

- (1) 愛好者増加の推進
- (2) ハング・パラグライディングのイメージ向上・宣伝告知
- (3) 全国のフライヤーの実態把握と安全対策検討
- (4) 委員会の主体的活動のバックアップ
- (5) ボランティア制度の活用促進
- (6) フライト中の情報交換を可能にする無線機の普及
- (7) フライヤーのための損害保険の告知と普及
- (8) スクールのための施設賠償・損害保険の告知と普及
- (9) 第三者賠償責任保険の付保継続
- (10) JHF白書の編纂
- (11) 寄付・助成金獲得への取り組み
- (12) その他定款の定める管轄事項

2. 常設委員会・事務局（広報出版）の事業

(1) 安全性委員会

- 1 事故情報の収集と管理
- 2 事故調査活動

- 3 機体登録制度の推進
- 4 P G・M P Gパイロット安全セミナーの推進（教員・スクール事業委員会と合同）
- 5 海外情報収集と告知（D H V infoの翻訳など）
- 6 セーフティーノーツの管理

（２） 教員・スクール事業委員会

- 1 P G・M P Gパイロット安全セミナーの開催・目標 1 3 地区で開催
（安全性委員会と合同）
- 2 H G 教本の発行
- 3 P G 教本改訂版の発行
- 4 P G 学科試験の見直し
- 5 スクール支援のための事業計画と実施
- 6 教員学科検定の集合教育（１２月）
- 7 パイロット更新制度の研究
- 8 タンデム証の更新制度の研究

（３） H G 競技委員会

- 1 ルールブックの改定
- 2 H G S とフライトコンテスト（改：クロスカントリーリーグ）の管理運営と
活性化
- 3 H G 競技委員会ホームページの管理運営
- 4 各種大会の公認および後援申請に対する審議および承認
- 5 クラス I 日本選手権の開催（２０１７年２月９日～１２日、和歌山・紀の川）
- 6 クラス V 日本選手権の開催（時期未定、茨城・足尾）
- 7 クラス I 世界選手権（ブラジル）に選手派遣
- 8 スポーツクラスの活性化検討
- 9 S N S を活用したタイムリーな情報発信
- 1 0 F A I 技能記章取得の制度を推進
- 1 1 公式記録公認の制度を推進
- 1 2 ライブスコアリングシステムの導入検討

（４） P G 競技委員会

- 1 ルールブックの改定
- 2 ウェブ事務局/ホームページ管理
- 3 J リーグ、J 2 リーグ、X C リーグ、A J リーグの管理
- 4 J 2 リーグおよびアキュラシーリーグの活性化・支援

- 5 XC日本選手権の開催（時期、開催地未定）
- 6 アキュラシー日本選手権の開催（時期、開催地未定）
- 7 XC世界選手権（イタリア・7月1日～15日）に選手派遣
- 8 アキュラシー世界選手権（アルバニア・5月5日～14日）に選手派遣
- 9 ホームページの新調・充実（タイムリーな大会結果のアップ）
- 10 アキュラシーターゲットマットの新調

（５） 制度委員会

- 1 JHFにかかわる制度の定款、規約、規程、規則などの文書管理
- 2 理事会諮問事項への答申
- 3 I P P I カードに準じたHG・PG技能証規程の改定
- 4 HG教本の全面改訂作業に協力
- 5 FAI 技能記章、公式立会人に関する事項の研究
- 6 フライヤー登録証付き技能証の研究
- 7 ウェブでのフライヤー登録システムの研究（外国人ビジターを含む）
- 8 ウェブでのクレジットカードによる支払いの研究
- 9 JHFの歴史編纂に協力

（６） 補助動力委員会

- 1 M P Gパイロット安全セミナーの開催
- 2 ホームページの活性化。動画、注意喚起などをアップ
- 3 下総自衛隊安全会同への参加
- 4 全国の実情把握・会員増加のための取り組み
- 5 事故対策への取り組み

（７） ハングパラ振興委員会

- 1 今飛んでいる人が飛び続けられる環境作りの検討
 - － フライヤーズボイスの運用（継続）
 - － 大会などイベントの活用（他委員会と連携）
 - － 引越し、転勤などによるエリア移動の問題の分析と対応策検討
 - － 学生が卒業に伴いやめてしまう問題の分析と対応策検討
 - － 加齢による影響の軽減策など検討（他委員会と連携）
- 2 各種イベントへの協力
- 3 HG教本およびPG教本改訂への協力

（８） 役員選任実行委員会

- 1 2017年度役員選任についての検討
- 2 2017年総会における役員選任の準備と実施

(9) 事務局（広報出版活動）

- 1 JHFウェブサイトの運営（スクール紹介サイトを含む）
- 2 JHFレポートの発行
- 3 関連媒体への情報提供
（ハング・パラグライディング関連雑誌に情報を提供）
- 4 一般媒体などへの情報提供
（ハング・パラグライディングの紹介、イベントやエリアの紹介など）
- 5 スクールなどへの情報提供
- 6 日本のHG・PGの歴史編纂事業

3. その他この法人の目的達成に必要な下記の事業を行う

- (1) 技術に関する事業
- (2) 教育に関する事業
- (3) 安全に関する事業
- (4) 競技に関する事業
- (5) その他普及啓蒙に関する事業

以上